

平成も二十年代最後の年となりました。天皇陛下の引退問題も持ち上がっていますが、平成もここまで続くとは思いませんでした。二十九年が輝ける、希望の持てる年の幕開けとなり、丁酉歳を安泰に過ごさせて頂けます様、御祈念申し上げます。それではサア行くまい。行くまいとは三河地方の方言で行きましよう。という言葉です。

昨年の後半は高齢者が起こした自動車運転ミスによる死者が多く出てしまいました。正しい行動が出来なかったという事でしょう。勿論事故は高齢者ばかりが起こすとは限りませんが無謀運転・緩慢運転・傲慢運転も多く、踏み間違いも多い訳です。慣れは恐ろしく神経経路がどこかで正しく稼働しなくなったという事でしょう。私は常に生活の中に於いて正しく行動できているか、もたもたしていないかチェックしています。現在随分処理スピード遅くなってきました。時間が掛かって正しく行動が出来る様に努力をしています。車に限らず全ての動作に於いて、思考に於いて**正しい判断、正しく行動**が出来る様に努めなくてははいけません。

昔、記したことが御座いますが人の成長は器に従って姿を変えていく水の如くにあらねばなるまい。昭憲皇太后御歌 金剛石の一節に 金剛石も磨かずば玉の光は添わざらん 水は器に随いてそのさまざまになりぬなり 人は交わる友により良きに悪しきになりぬなり」と、我々は常に身と心が器と水のバランスを保つように成長しなくてはならない。世界情勢を照らし合わせてみても日本社会に於いて見ても、**身体能力と精神能力の不一致**の方が増えて来たのではなからうか。人間は自分勝手なものです。時間の制約から外れた定年後は自分を抑制させる為にけじめや規律を作って規則正しい生活を心掛けましよう。例えば時間を決めての読経です。板橋興宗禅師はお経の意味を知るよりも、**お経のリズム感や音律が大事**、だから般若心経も漢文のまま木魚に合わせて唱えていると、リズムに乗ってきて、とてもありがたく思えてくるのです」と、心がますます爽快に成る訳です。**心が塞ぐと体にも悪影響を及ぼす**からです。

中日新聞の「二十二十年への金言」の中で具志堅幸司氏はメダリストの会見で、内村選手は審判に好かれているから高得点が取れたと感ずるか」などと問われ、審判は公平だと思う」と明言した。銀メダリストのオレグ・ベルニヤコフ選手は 内村選手はキャリアの中でいつも高得点を獲得してきた。愚問だと思う」と発言。三位の選手も 彼は素晴らしい、皆のお手本だ」と絶賛した。私はこのインタビューを聞いて目頭が熱くなった。まさに勝者をたたえるスポーツマンシップであった。スポーツマンシップを一言で言えば **尊重**。相手を尊重し、審判を尊重し、そして自分を尊重するから最後まであきらめずに全力を尽くす。当に、その精神が遺憾なく発揮された場面だったと思う。」と感想を記している。社会生活全般の人間関係に於いて、お互いが尊重し合えるように実践して頂きたいと思えます。**罪なき世界**です。仏教でも、お釈迦様の高弟が尊者と名付けられています。**皆が尊者となれば**こんな素晴らしい世界は無いと思えます。まさに**極楽・極楽**です。

大燈国師は 深く心に恩を感じればこそ、それに報いることができるのだ」と、明言也